

# 茨城産業人クラブ パネルディスカッション

大手企業と中小企業の取組み方の違いなどを、日立製作所での事例を含めてご紹介いたします。

**堀水 大手企業は、過去を知るIT担当者が現役で活躍しているかどうかによると思い**ます。IT投資のおかげで現場にサブシステムが多くなっており、簡単に導入が進むかどうかは関係者が在職中かどうか、またプロジェクトに参加できるかがポイントになります。大みか工場は幸い関係者が多かったおかげでできましたが、工場見学をされたお客様から「それ使いたい」と言われた時に、簡単に提供可能にしていなかった点で苦労がありました。慌ててシステムを直しましたが、最初からそう簡単に提供できるように開発しておけばよかったと反省しております。

中小企業ではITがわかる人材も少なく、投資もあまり進められない実情があると思います。昨今、安価なアイテムは増えていますが、IoT時代の伸びしろは実は中堅中小の方が多いと思います。アイデアと情報収集力次第です。アンテナを張り、専門家と協力すれば、大手より早く導入が進むのではないのでしょうか。

**IoT活用戦略**  
大久保 次に、各社のIoT活用戦略をお聞きしたいのですが、その前に、2年前に経済産業省が発表した「新産業構造ビジョン 中間整理」をお示しします。これは、このままでは中小企業が淘汰されていくという危機感を国が持っている表れです。

そこで国は、新しいことに取り組む企業に対し、助成制度を次々と出しています。こうした動きを受け、大久保様は参考事例などをお聞きします。

大久保 茨城県のサービス産業分科会では、IoTを製造業だけでなくサービス業にも展開しようという方針に沿って立ち上がり、認証を導入することで



ました。資料左側にあります。資料右側にあります。顧客に適切な接客をしたい、というものです。メンバーには内山味噌店(茨城県日立市)や黒澤醤油店(茨城県ひたちなか市)と

スタッフの記憶に頼らず常連をはじめ、全ての顧客に適切な接客を行いたい、というものです。メンバーには内山味噌店(茨城県日立市)や黒澤醤油店(茨城県ひたちなか市)と

品のお客様へのサービス向上となる場合は、二丁目に限らず地域商店街には様々な問題があります。IoT・AIを使ってデータをとり、人・モノ・カネの流れをつかめる、ということを目指して分析し、商店街活性化につなげる仕組みづくりを構築中です。この活動はいずれ水戸市全体、そして他の地域まで広がっていくです。

**中小への普及**  
大久保 仁衛様、IoT導入の敷居を下げるにはどうすべきですか。仁衛 ユーザーが自分の頭で考えるところが全てのスタートだと考えます。我々が伴走できるのはその先で

二つ目の接客サービス向上についてです。主に小売店で、顔認証を導入することで

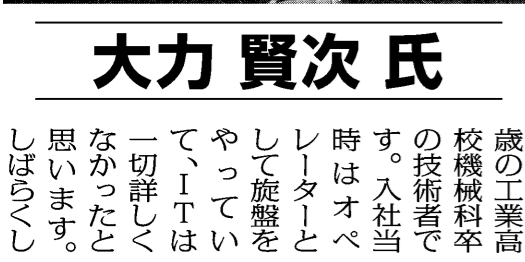
現場以外に向けたサービスを提供し始めています。今はサイバーフィジカルシステムシミュレーションを可能にするために、データの選定や、学習モデルをつなげる処理を簡単にするシステムを準備中です。

IoTに関する今後の経営戦略などはありますか。加藤木 弊社のIoT化の取り組みを進めたのは現場の若いリーダーです。4カ月前からの短い期間で立ち上げた。私共の事例を社内外で紹介し続けている。今後は、組

野上技研 野上社長、加藤木社長に2点伺います。1点目、弊社は現場からのたき上げが多く、IoTはわからない社員が多いです。どういうスキルを持った方がそうした結果を出したのでしょうか。2点目、生産システムを統合したいという話に関連して、人材として改めてIoTに詳しい人間を採用をお考えですか。

大久保氏 1点目については、今年31歳の工業高校機械科卒の技術者です。入社当時はオペレーターとして旋盤をやっていた。IoTは一切詳しくなかった。思うように技術レベルを上げていくと、ただのつ

大久保 賢次氏



の財産なので、そこから是非、フィードバックをかけてみてください。データを貯めて、次の動きに活かすことから始めてほしいです。

大久保 中小企業にIoTを普及させるには、何が必要かを会場でも確認してあります。これも一つの連携だと考えています。

小田倉 弊社の場合は、多能工化へのプロセスの中で、各ラインリーダーが技能者として、自らCAD/CAMを使ってみたいと言ってきたので許可しました。CADに関しては、弊社の設計部員に指導してもらったと思います。IoT導入を進めたいのですが、相談したい話を聞かせてもらっています。現場が非常に忙しく回っている中で「IoT導入なんて無理、仕事を増やさないでほしい」という声も現場で多く、どう社内に取り込んでいくかが、目の前の仕事優先になっていて、現場の忙しさから開放するという役目があると思います。

堀水氏 2点目について、採用したいのですが、中小企業にとっては難しいのか、目の前の仕事を優先にしている現場の忙しさから開放するという役目があると思います。

大久保氏 スモールIoTが助けてくれる。残業がなくなった。現場の改善活動という事例が多いです。忙しいからこそ現状を打破するために、現場のキーマンに忙しい原因や不要な仕事をヒアリングし、視点を替えて、助けてあげるという姿勢を見せると思います。

## 課題抽出 具体的に

例がありますが、この事例が対応した課題である。属人性の解消は中小の共通した悩みです。AIで解決する場合には、まずデータ蓄積からとなり、データは自社だけで、自らが対応している。属人性の解消は中小の共通した悩みです。AIで解決する場合には、まずデータ蓄積からとなり、データは自社だけで、自らが対応している。

### 質疑応答

野上技研 野上社長、加藤木社長に2点伺います。1点目、弊社は現場からのたき上げが多く、IoTはわからない社員が多いです。どういうスキルを持った方がそうした結果を出したのでしょうか。2点目、生産システムを統合したいという話に関連して、人材として改めてIoTに詳しい人間を採用をお考えですか。

大久保氏 1点目については、今年31歳の工業高校機械科卒の技術者です。入社当時はオペレーターとして旋盤をやっていた。IoTは一切詳しくなかった。思うように技術レベルを上げていくと、ただのつ

大久保 賢次氏

大久保 賢次氏

ソフトウェアのオーダーメイドならお任せ下さい! 創業35年を越えた実績とノウハウでお応えします! PENGUIN SYSTEM ペンギンシステム株式会社 IoT, AI, 機械学習... 難易度の高いソフトこそ当社の出番です! まずはご相談下さい。〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターCB10 https://www.penguins.co.jp E-mail: customer@penguins.co.jp TEL: 029-846-6671